

〔A類家庭コース，B類家庭コース 対象〕

小論文 解答例

令和8年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

I. 次の文章を読み，下の問いに答えよ。

「サステナブルな暮らしをしよう」——コロナ禍で一気に広まったSDGsの大合唱のもとで、「サステナブル」や「エシカル」の言葉が一気にテレビや雑誌でブームになった。(中略)テレワークが中心で外出しない日が増えた今は、すっかりファストファッションが日常着になっている。過去にはセール品をつい買ってしまい、結局ほとんど着なかったことも。そんな私たちのための「免罪符」がリサイクルだ。アジアやアフリカの人たちのために、まだ着られる洋服を「寄付」しよう。そうすれば、新しい服を買うことの罪悪感も薄れていく……。

一定の品質を満たす衣服を途上国に安く提供するリサイクルやリユースはたしかに悪くないアイデアのように思える。だが、実際に、洋服がその後どうなっているのかを見たことがあるわけではない。だから、その需要に甘えて、私たち日本人が自分たちの要らない「ゴミ」を押しつけている面もあるのではないか。

『ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた』(斎藤 幸平，2022)

問1. 著者は、衣服のリサイクルやリユースを「免罪符」と捉えているが、このことについて、あなたの考えを述べよ。

(採点のポイント)

文章を正確に読み取り、衣服のリサイクルやリユースの「免罪符」に該当する側面を理解した上で、自分の考えを説明できていること。

問2. 問1を踏まえ、持続可能な衣生活のために、家庭科教育においてどのような学習が必要か、具体的な内容と、それを考えた理由を述べよ。

(採点のポイント)

問1を踏まえ、持続可能な衣生活を実現するための家庭科教育の学習について、具体的な内容とその理由を客観的、論理的に説明できること。

(出題意図)

現代における衣生活および消費生活と環境の関連性と課題について、家庭科教育とのつながりを理解し、論理的かつ明確な文章で説明できているかをみることをねらいとしている。

[A類家庭コース, B類家庭コース 対象]

小論文 解答例

令和8年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

II. 高等学校家庭科では,生涯を見通した生活経済に関して学ぶが,そのなかで「資産形成」についても学習する。

問1.「資産形成」について学ぶことが重要視されるようになった,昨今の社会的背景について述べよ。

(出題意図)
「資産形成」について高等学校家庭科で学ぶようになった背景として,生涯にわたる経済管理・計画の必要性を理解し,論理的に説明できるかを問う狙いである。

問2.高等学校家庭科で「資産形成」について学ぶ意義について,教科の特性を踏まえて述べよ。

(出題意図)
家庭科教育で「資産形成」について学ぶ意義について,教科の特性を踏まえた上で,論理的に説明できるかをみる問題である。